



# 待望の国分寺市役所新庁舎が完成、令和7年1月1日に移転



(西側外観)

国分寺市役所は、隣接する都立武蔵国分寺公園と繋がる多目的な機能を持つ広場を有し、敷地周辺とはゆとりを持たせた建物配置としています。また、外観は、「木漏れ日グリーン」をカラーコンセプトとして、周辺環境にあわせた豊かな表現が感じられるものとなっています。フロア構成は、窓口機能を1・2階に配置することで市民の利便性を高め、中間階は災害発生時に各部門が連携して迅速な対応ができる配置としています。

## 国分寺市役所は 新庁舎に

令和7年1月1日(祝)に移転、  
1月6日(月)から業務開始!

通常  
窓口

現庁舎

12月27日(金)

17:15で

終了

新庁舎

令和7年1月6日(月)

8:30から

開始

現庁舎

12月31日(火)

23:59で

終了

新庁舎

令和7年1月1日(祝)

0:00から

開始

夜間・休日  
窓口



都立武蔵国分寺から都心部まで一望できる「木漏れ日テラス」5階フロア

(資料提供：国分寺市役所)

## 第15回歴史探訪

### ～郷土（清瀬市）の歴史に触れる散策～



(滝の城跡から清瀬市域を望む)

## 秋雨の清瀬市 清戸～下宿～柳瀬川～中里ウォーキング

10月5日（土）、あいにくの秋雨の一日でした。午前8時30分、西武池袋線清瀬駅北口に、多摩支部の6地域支部（国分寺・小平・武蔵野・三鷹・東久留米・清瀬）22名の皆様が集合。当日のコースとして先ず向かったのは、①樹齢400年を超える杉の大木等に囲まれた清戸の「日枝神社」。明治22年（1889年）に誕生した「清瀬村」は一説によれば、清戸の「清」と柳瀬川の「瀬」を合わせて名付けられたと言われている。

次にバスで移動し、②「滝の城（廃城年：1590年か）跡」へ、この城は戦国時代の平山城で北条氏照の持城と考えられ、「滝山城」の支城と言われている。豊かな緑に覆われた断崖の上に、曲輪や空堀跡などが残っている。本丸跡には、「城山神社」が祀られている。この本丸跡からは、清瀬市域が一望できる。

③一向に止まない雨の中、下宿の「八幡神社」へ。江戸時代の終り頃から、今でも続いている、毎年5月に行われる「ふせぎ行事」（藁で作った大小の蛇を旧村境に取り付け、疫病や悪霊を村に侵入しないように祈願する行事）で使われた「藁の大小の蛇」が雨ざらしのまま残っていた。

④最後は、柳瀬川沿いの散策路を約3.3km歩き、中里の「富士塚」へ。享保18年（1733年）、清瀬に富士講が伝わり、文政8年（1825年）に塚を再築。今でも「富士登山」や「火の花祭り」等の行事が行われている。高さ9m程の「富士塚」を登れば、不思議に「富士山」に登頂した気分になりました。秋雨の中、傘を持ちながらの全行程7kmのウォーキング、全員、無事完走出来ました。

締めは、清瀬駅前の「埼玉タンメン山田太郎」での「打ち上げ会」。雨に濡れた体に、喉を潤す「生ビール」、あったかい「タンメン」、そして共にウォーキングした校友の皆さんとの厚い交流は、最高の思い出になりました。最後に、永代支部長はじめ清瀬地域支部の皆様にはご協力頂き、厚く御礼申し上げます。また、小林信夫さん（国分寺地域支部副支部長）には、資料の作成やコースの案内等、大変お世話になりました。有難うございます。



滝の城本丸跡に  
建てられた  
「城山神社」前で



① 清戸の「日枝神社」



② 「滝の城本丸跡」



「滝の城二重堀跡」



「滝の城跡」から望める清瀬市域



③ 「ふせぎ行事」の藁の蛇



雨ざらしの「藁の蛇」



④中里の「富士塚」



小林信夫さん



(写真；佐々木一郎、粕川偉三男)

# 地域支部だより 一國分寺・国立地域支部

## 餅つき行事をいつまでも思い出の片隅に (見事に実った国立の稲穂)



「餅つき」のスタートは

○師走の風物詩とも言える。「国立の餅つき」行事がスタートしたのは、1996年(平成8年)11月、以来毎年開催(中止は、コロナで2回、雨天で1回のみ)され、この間、国分寺地域支部との共催、近隣地域支部への誘いや明大祭実行委員の現役学生と明大相撲部員の搦き手の応援も加わり、2016年には、93名もの参加があった。



2016年12月18日  
の餅つき風景



明大相撲部員の搦き手



堀田前国分寺地域支部長も大活躍



搦き立ての餅を絡み餅へ

○そうした中、餅つきに使う「米」も「国立産」にとの思いで、2017年から校友の沼崎信夫さんのご厚意(田圃の貸与・生育の見守り・道具の手配等)で田植え、そして稲刈りを行ってきました。今年も8回目を迎える田植えは、去る6月15日(土)、4地域支部(国立・国分寺・小平・あきる野)の皆さんと行った。(詳細は、多摩支部会報第61号を)

田植え



小柳文男(国分寺)さんの奥様



2024年6月15日の田植え

# 稲刈り

○その田植えから5か月後の10月14日(日)、6月に植えた稲の刈取りを行った。沼崎信夫さんからは、「今年の田圃には、蛙も蛇も全く見当たらず、加えて雀や鴨も飛んでこず、稲の被害が無かったことは幸いなのだが、これからの気候変動の影響が不安ですね。」と話していた。当日は、5地域支部(国立・国分寺・小平・あきる野・立川)24名の皆さんが参加。黄金色に見事に色づいた稲穂を刈取りました。鎌を持つ手つきも初めはぎこちなかったが、徐々にコツを掴み、約1時間30分程で全ての稲の刈取りを終了。その後、刈り取られた稲を束にして、稲架(はぎ)掛けをし、稲は数週間、天日と風で乾燥させることになります。



2024年10月14日の稲刈り

○全ての作業も終わり、大分腹も減ってきました。「昼食会」では、世話人の沼尻さんが腕に縋りをかけたお弁当(豚バラのコーラ煮、だし巻き卵等)に「明大茶」、デザートに矢川の柿が出され、疲れも一変に吹き飛んだと思います。改めて、田植えから稲刈り、そして食事の提供に至るまで、沼尻さんには感謝の一言に尽きます。 柴原力さん・望月啓介さん・小柳文男さん



沼崎信夫さん 沼尻 哲さん

当日のお弁当



# 収穫祭

○最後に残念なお知らせですが、1996年に始まって、28年にわたり続けてきましたこのイベントも、12月15日の「収穫祭」をもちまして、全て終了することになりました。沼尻さん、柳澤さん、土屋さんをはじめとした国立地域支部と国分寺地域支部の皆さん、本当にご苦労様でした。また、イベントにご参加頂いた多くの近隣地域支部の皆さん、現役の明大生の皆さん、そして、田圃を貸与して頂いた沼崎信夫さんなど多くの人のご協力でのイベントがここまで続けて来られました。厚く御礼申し上げます。なお、最後の行事になります「収穫祭」を、12月15日(日)に行います。器械ではありますが搗き立てのお餅(5種類絡み餅)と山形芋煮を召し上げて頂きます。

(記・写真:佐々木一郎)



寄稿

# 人生七転び八起き

宮原 修司 (昭46・政経)

政経学部経済学科を卒業して、(株)丸井に入社して30年。その後(株)ファンケルの社長に誘われて、4年間勤務。55歳で世界50ヶ国を旅して集めたミニチュアコレクション5,000点をベースにして、アート作家さんの作品を加えて展示販売をするギャラリーを、国分寺駅のそばで、13年間経営しました。現在は(株)米八、お赤飯とおこわの専門店の顧問をさせていただいております。

卒業以来、常に順風満  
50年以上も流通業界に  
た。

オピニオンで選んだ東  
前立腺癌の疑いあり、  
値を医師から知らされ  
して前立腺癌と、更に  
「ステージ4」と判定さ

はホルモン剤治療で、「PSA」の数値は、0.5まで下がりました。しかし、癌が全く消えた訳ではありません。次の手段として、体力のあるうちに外科手術をした方が良いという事で診断が下されました。その手術前に、念の為に他に転移がないか、MRI,CT,更に高額なペット検査まで行いました。その結果、肺癌が見つかり、「ステージ1」でした。先に肺癌の手術。今年3月、前立腺癌の手術をして、現在は毎日元気で通常どおり生活。退院後はクオリティオブライフで、明るく元気に前向きに1日1日を大切に生きる事、ポジティブシンキングを実行しております。

①顧問の仕事は、今まで通り続けさせて頂き、社会とのかかわり合いで自己実現をする事。②出来る限り外に出かけて人と会う、その為には、いろいろな会合に積極的に出席する。③毎月、日本全国の温泉地に三泊四日の旅をして、免疫力のアップと療養をする事。不確実性の時代、地震や台風等々困難な事が起きた時に適応できる能力、レジリエンス能力が必要、先ずは、元気である事が絶対的条件である。



帆の人生でした。なんと  
身を置いてまいりまし  
しかし、3年前にセカンド  
大病院の人間ドックで、  
「PSA」が160という数  
ました。即日検査入院を  
リンパに転移をしている  
れました。そこで、1年間



エジプト・ギザのピラミット

バルト三国・エストニア



コレクション・ギャラリー

## 新年会のご案内

明治大学校友会 国分寺地域支部  
支部長 高久みどり

今年も残るところ少なくなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。  
このたび、恒例行事の「新年会」を下記の通り開催いたします。  
なお、この度の「新年会」は、多くの会員の皆様にご参加し易いように、開催時間を昼の11時30分からの開催にさせていただきました。  
御多忙の事と存じますが、ご家族ご友人をお誘い合わせの上、多数の会員の皆様にご出席くださいますようお願い申し上げます。

### 記

**日 時** 令和7年1月25日(土) 11:30~13:30  
受付 開始 11:00  
新 年 会 11:30~13:30

**場 所** 「北海道」国分寺南口駅前店  
国分寺市南町3-9-15 国分寺ステップス4F (マルエツの上)  
JR国分寺駅下車 南口 徒歩3分  
電話: 042-300-1277

**会 費** 4,000円(飲み放題付き) 会費は、当日ご持参ください。

アトラクションとして、「ビンゴゲーム」を予定しております。  
つきましては、「ビンゴ」の賞品として、未使用の「日用品、引き出物、手工芸品(手作り可)、酒類等」がありましたら、是非、ご出品の程宜しく願い申し上げます。  
(問合せ先: 納谷菊夫)

なお、添付いたしました「返信葉書」は、「12月15日(日)」までにご投函をお願い申し上げます。

新年会世話人 豎山 富美子  
坂庭 香予子  
納谷 菊夫  
神山 健司  
望月 啓介